

サイバー犯罪被害に係る 企業・団体を対象としたアンケート調査結果及び対策

過去 1 年以内に受けたことのある被害



ランサムウェア被害が倍増

R2

1位	メール不正中継	12.8%
2位	ランサムウェア	11.9%
3位	情報流出	6.4%

※ 被害を受けた団体における割合

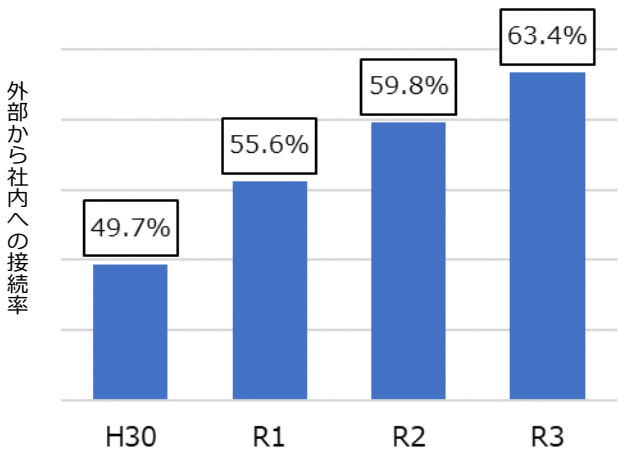
R3

1位	ランサムウェア	22.1%
2位	メール不正中継	15.8%
3位	情報流出	12.6%

※ ランサムウェアとは、感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価として金銭を要求する不正プログラム

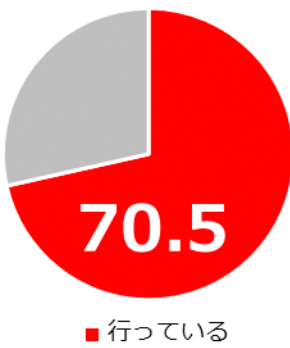
外部から社内への接続・テレワーク

業務上の外部からの接続が急増

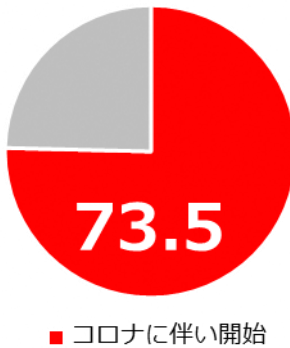


新型コロナ拡大による開始は7割以上

テレワーク実施状況



テレワーク開始時期



セキュリティ対策

VPNの導入が増加

H30

R1

R2

R3

1位

ファイヤーウォール

IDパスワード

IDパスワード

IDパスワード

2位

IDパスワード

ファイヤーウォール

ファイヤーウォール

ファイヤーウォール

3位

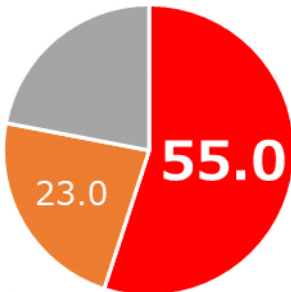
Proxyサーバ

Proxyサーバ

VPNの利用

VPNの利用

ランサム感染経路は半数以上がVPN

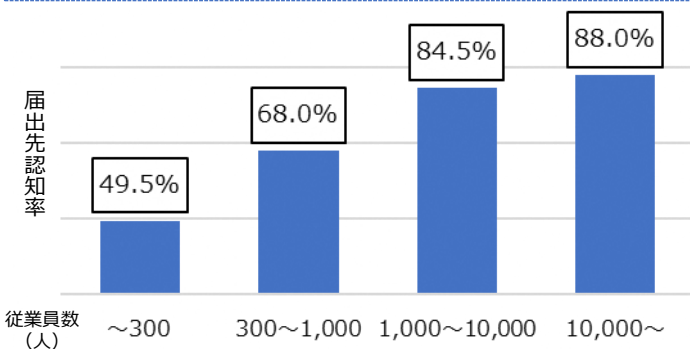


■ VPN機器からの侵入
■ リモートデスクトップからの侵入

「令和3年上半期サイバー空間脅威情勢」（警察庁）抜粋

被害発生時の届出先の認知状況等

中小企業の認知率が低い



最も多い届出先は「警察」

1位 **警察**

2位 情報処理推進機構

3位 監督官庁



被害に遭わないために

OSなどの脆弱性対策

OSやアプリケーションソフト、VPN機器などに脆弱性があるとマルウェアに感染したりネットワークに侵入されるおそれがあります。

OS・ソフトウェアの更新

ウイルス対策ソフトの更新

ネットワーク機器ソフトウェアの更新

認証情報の適切な管理

VPN機器やリモート・デスクトップ・サービスなどの認証パスワードが脆弱な場合、ネットワークに侵入されるおそれがあります。

パスワード長は一定以上に

異動で使わなくなったIDは削除

IDを複数ユーザで共有しない

⚠ **被害に遭ってしまったら
警察へ通報**



より詳しい被害防止対策は警察庁「ランサムウェア被害防止対策ページ」 → <https://www.npa.go.jp/cyber/ransom/index.html>



京都府警察本部サイバー犯罪対策課

当課ではサイバー犯罪被害防止に関する情報を発信しています →

https://twitter.com/KPP_cyber

